休園保育士給与　ちゃんと払って

内閣府

新型コロナウイルス感染症に伴って認可保育所などが休園や保育体制を縮小した場合に、保育士ら職員が無給の自宅待機や年休消化を強いられるなどの事例が相次いでいます。この問題で内閣府は、保育所の収入は保証しているとして、保育士ら職員に対して人件費の適切な支払いを行うよう求めていたことが分かりました。

公衆衛生上の観点から認可保育所などが休園する場合には、子ども子育て支援制度に基づく支払いは加算も含めて保証される特例が設けられています。このため無給の自宅待機のような扱いはおかしいと声が上がっていました。

内閣府は、４月28日によくある質問への回答として、臨時休園でも「施設の収入を保証することとしています。人件費の支出についても、これを踏まえて適切にご対応いただくべき」だとしました。

内閣府の担当者は「非常勤職員も含めて人件費の原資は保証されているため休業前の予定通り人件費を支払ってほしいということ。無給の自宅待機や賃金カットによって人件費が削減されていれば監査などで問題になり得る」と説明しています。

2020年５月15日付「しんぶん赤旗」より

あなたの園は大丈夫！？　コロナ禍のなか賃金カット

＃困ったときは共産党に相談しよう

認可保育園などの各保育施設は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための登園自粛要請で、子どもの登園数が大幅に減少し、保育体制を縮小し対応しています。そんななか、保育士など職員が無給の自宅待機や年休消化を強いられているという相談が相次いでいます。

この間、議員団のところにも「有給が溜まっている職員は有給消化、パートや非正規職員で有給が少ない職員は賃金６割補償しかしない」や、「パート職員は自宅ワークで保育教材など作り物をしているのに無給扱いとなっている」など、おかしいと感じた保育士からの相談が相次いでいます。

あなたの身近にいる保育士さんは大丈夫でしょうか？

こうした事態は全国的な問題となっており、内閣府は事態是正のために各自治体へ「臨時休園でも保育所の収入は保証しており、保育士ら職員に対して人件費の適切な支払いを行うよう求める」通知を送っています。

しかし、この通知が未だ現場には浸透していません。日本共産党市会議員団は、5月14日の市長への申し入れ時に早急な対応を求めました。

地域外来・検査センター（PCR検査）の設置へ

新型コロナウイルス感染疑いのある交野市民に対し、「ドライブスルー方式」のPCR検査センターを市内に設置することが決まりました。

条件：①市内医療機関の診察後に、医師が検査が必要と判断した者及び四條畷保健所からの対象者。

②予約制（１日最大８人）

実施期間・時間

2020年５月21日（木）～31日（日）

※国や府の動向を注視し対応を行う。

午後２時～午後４時

実施場所：人権等を配慮し非公開

６月議会の日程（案）

※変更の可能性があります

月	日	曜	議会日程
5	28	木	議会運営委員会
6	4	木	本会議（議案上程）
	10	水	議会運営委員会（意見書）
	12	金	本会議（一般質問）
	15	月	本会議（一般質問）
	16	火	本会議（一般質問）
	17	水	本会議（予備日）
	18	木	総務文教常任委員会
	19	金	都市環境福祉常任委員会
	22	月	常任委員会（予備日）
	29	月	本会議（委員長報告・採決）